

イタリアンレストランでの食事を楽しみましたか、ユミ。  
いいえ、実際。でも、なぜ。  
ええ、最初に彼らは私たちを長い時間待たせました。  
最後に私たちは注文をしました、しかし、それから彼らは注文を  
間違い続けました。  
そして彼らは高すぎる請求をしました。  
アンのお父さんは本当に怒っていました。  
しかしあのレストランはとても人気です。  
知っています。それはひどかったです、しかし人々はまだそこ  
に行き続けています。  
ユミ。昨晚何か不思議なことが起きました。  
なんですか。  
ええ、私はテレビを見ていましたすると突然雑音が聞こえました。  
テレビを消して私は上の階に行きました。  
お化けがみえることを予期して私はとても怖かったです…しかし  
そこには誰もいませんでした。  
ああ、カルロス。それはおそらく窓が閉まった音でしょう、風に吹  
うーん。実際、日中に話されてみると、この話はまったく不思議  
じゃなく聞こえます。  
親愛なる皆さん、先週のあなた方の手伝いに感謝します。  
ご存知のように、私は今90歳です。  
元気がありませんので自分で庭の手入れをすることができませ  
どうしたらいいのかわかりませんでしたので、私はボランティアセ  
ンターに電話をしました、すると彼らはあなた方を私のところへ  
送ってくれたのです。  
あなた方は最高でした。  
一緒に時間を楽しむことができましたので、私はあなた方がまた  
私を訪問してくれることを希望します。  
あなた方の、 マリーアンドリュース  
トルコは訪れるには素晴らしい場所です。  
トルコを訪れることによってあなたはアジアとヨーロッパ両方の影  
響を感じることができます。  
アジア、アフリカ、そしてヨーロッパ大陸がすべて出会う場所に位  
置していて、トルコは歴史を通してずっと重要でした。  
実際にはトルコの97パーセントがアジアで3パーセントがヨーロッ  
パです。  
トルコはギリシャの東に位置していて、3方を海に囲まれていま  
国土は多くのヨーロッパの国々よりもはるかに大きいです。  
1660キロの長さで550キロの幅があります、そして気候は場所  
それぞれで違います。  
人口:7390万人 首都:アンカラ 公用語:トルコ語 主要宗教:イ  
スラム教

旅行者はトルコで多くの異なる行動ができます。  
様々な歴史的な場所を訪れることができます。  
たとえば、ヨーロッパとアジア間の門としてのイスタンブールではモスクと呼ばれるイスラム教の多くの寺院があります。  
それらのいくつかは美しいタイルで有名です。  
訪れた人が古代ローマ人が楽しんだのと同じタイプのお風呂を経験できる多くの温泉もあります。  
トルコは興味深く美味しい食べ物でも有名です。  
旅行者はよくトルコで彼らが食べたすばらしい食事について話まある人々はフランス料理、中国料理とともにトルコの食べ物を世界で最高のものに数えます。  
標準的なトルコの夕食はスープで始まり、様々な「メザイ」、様々な軽い料理に続きます。  
そして魚や肉が野菜とともに続きます。  
食事はトルココーヒーとともに終わります。  
食物を提供する国中の多くの農家があり、国が海で囲まれているので、新鮮な原料で料理することが可能です。  
多くのトルコの人々はアジアに親近感があります。  
世論調査ではトルコの人々は14の「友好」国のなかに10のアジアの国を選んでいきます。  
そのリストには遠く離れた日本や韓国も入っています。  
トルコは日本との長い友好の歴史を持っています。  
トルコを訪れなさい。あなたは多くのとても友好的な人々に会うでそしてあなたは少しのアジアとヨーロッパを同時に経験できます。  
もしトルコに旅をするなら、あなたは多くの日本に友好的な人々がいることを発見するでしょう。  
この理由のひとつは次の出来事に関係しています。  
100年以上前に大きな事故がありました。  
1887年明治天皇のおいがトルコを訪れ、トルコへの親善を表すためにトルコのサルタン(王)に会いました。  
サルタンはこの訪問を喜び、お返しに、1889年にエルタグラルと呼ばれる船で友好旅行を行いました。  
船の船長は明治天皇を訪れ彼にサルタンの敬意を伝えました。  
旅行は大成功でした。  
しかしながら、1890年にトルコへの帰路を始めたときに和歌山県の海外の置きで台風に遭遇しました。  
船は沈没し、結果587人が亡くなりました。  
たった69人が生き延びました。  
生存者は何とか岸にたどり着き助けを求めました。  
彼らを見つけて和歌山の人々は生存者達を助ける決心をしました。  
た。

村人達は彼らの世話を昼も夜もしました、そして食料や学校や寺院での避難場所を提供しました。

生存者が回復してから政府は彼らを2隻の日本の船、比叡と混合で帰国させました。

トルコの人々は彼らが日本から帰国したときに生存者にあえて非常に喜びました。

彼らは日本の人々に対してその優しさに対して感謝を感じまし

この出来事は日本とトルコの友好の始まりとして知られていま

この出来事は日本中の新聞に載りました。

記事を読んだ人々も援助したいと思いました。

そのような人の一人が山田虎次郎でした。

彼は事故で命を失った人々の家族を援助するためにお金を集めました。

集められたお金は約5000円(現在のお金で一億円)に上ったといわれています。

お金を運んで、山田氏は1982年にイスタンブールに行きまし

彼がトルコの人々にお金を申し出ると彼らはとても喜び彼に感謝しました。

日々が過ぎるにつれて、彼はトルコの人々がとても友好的であることを見つけました。

彼は地元の人々と友達になり、彼らは彼にトルコに滞在するように頼みました。

彼はトルコに初めての日本のお店を開きました。

彼はトルコの船乗りに日本語も教えました。

彼は日本に帰る前にほとんど13年の間トルコに滞在しました。

彼が去ってから多くの年がたっても、人々はその心優しい日本人の男性を覚えていました。

シルクロードの反対側の終わりに位置して、トルコと日本は長くて深い友情を持っているのです。

関係は100年以上も続いているのです。

オセオラ・マッカーティ、貧しい家族出の老婦人、は1995年にミズーリの大学に15万ドルを寄付しました。

彼女はそのお金が貧しい学生を助けることを希望したのです。

すべての人が驚きました、なぜなら彼らは彼女自身が貧しいと思っていたからです。

マッカーティさんは1908年に生まれました。

6年生のときに彼女は学校を去り、家族のために仕事を見つけました。

彼女は困難な時期を送りました。

彼女は多くのお金は持っていませんでしたが、できる限りお金をためました。

それやって彼女は15万ドル蓄えたのです。

彼女自身は大学には行くことができませんでした、しかし彼女は本当に貧しい家族から出た若い人々のために何かをしたかったのです。